

徳島県防災行政無線システム

坂田三郎* 岩森正行+
米田長義**
佐竹正章***

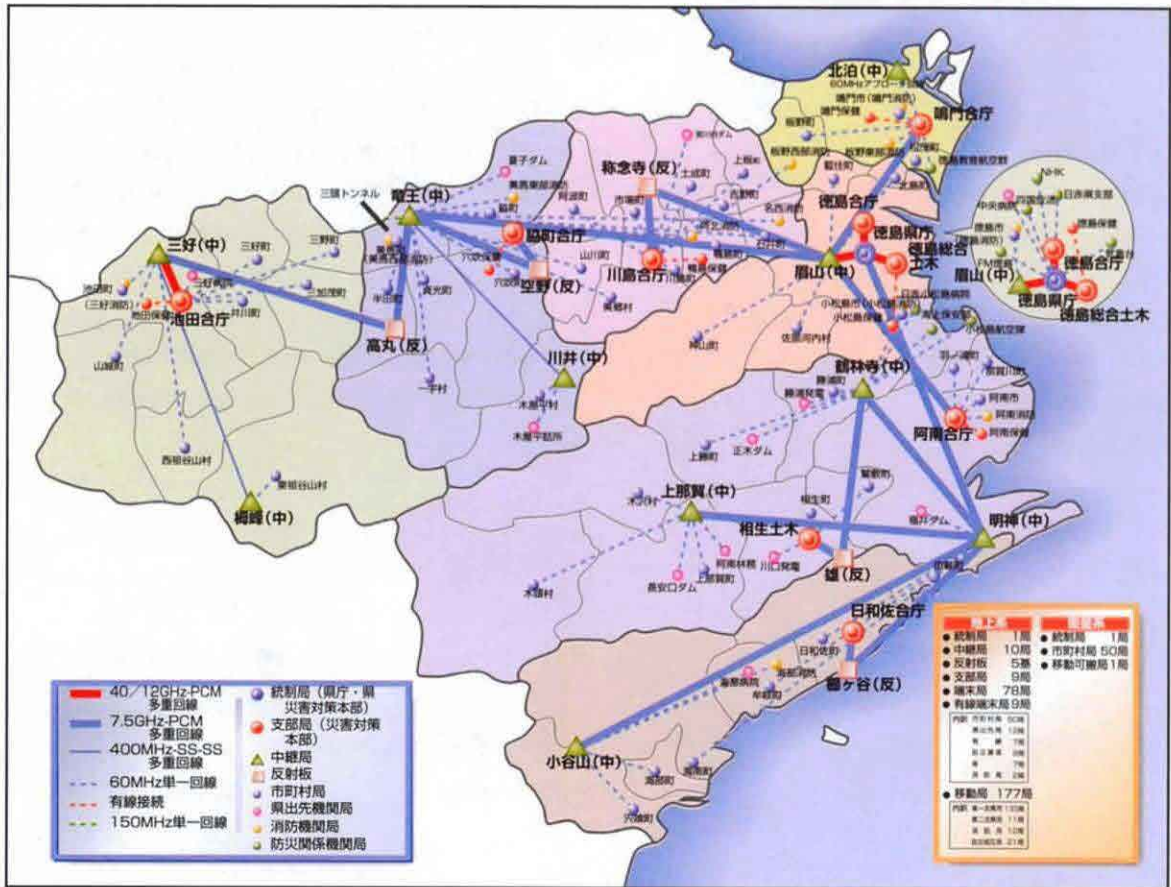
要旨

防災行政無線は、平常時には一般行政事務や地域からの情報発信に活用し、地震・風水害・台風などの災害時には情報の伝達と防災体制の確立を迅速に図ることによって災害を未然に防ぎ、また発生した被害を最小限に食い止めるシステムである。

1992年度から整備事業を進めてきた徳島県防災行政無線が、総合情報通信ネットワークを目的に、最新の機能を取り入れて完成した。無線局は、災害時に災害対策本部が設置される県庁に統制局が、地域単位に災害対策支部が設置される合同庁舎に支部局が、ダムなどの県出先機関、市町村、消防機関及び防災関係機関に端末局があり、これらを相互に結んで構成している。このほかに移動系がある。

今回のシステムの特長としては、県庁と市町村に衛星地球局を導入して地上系と2ルート化を図ったこと、主要な多重回線をPCM回線としてデジタル完全同期網で構成することによって高速度での信号伝送を可能としたこと、気象の注意報・警報等について気象台からデータで受信しファクシミリ信号に変換した後自動的に一斉指令するようにしたこと、県庁にファクシミリ蓄積装置を設置して順次同報、掲示板、一斉指令文書蓄積などの高度で多様な情報交換が行えるようにしたことなどが挙げられる。

また、このシステムは、水防警報、各種オンラインデータ通信、震度情報などの通信システムが共用する総合情報通信網として運用されている。



システムの回線構成

システムは衛星系と地上系で構成されており、地上系は多重系・単一系・移動系で構成されている。多重系は県庁、支部局、中継局を結び、単一系は支部局又は中継局と端末局を結んでいる。移動系は県庁、支部局と移動局の間を中継局を経由して結んでいる。

*徳島県環境生活部 **三菱電機(株)通信システム統括事業部 ***同通信機製作所
+同電力・産業システム事業所